

春 告 草

第 57 号 平成 29 年 4 月 19 日 進路指導部発行

2017年度大学入試を振り返る

(2回目 国公立大統編&私立大)

前回は国公立大全体について志願状況などを振り返ってみましたので、今回は首都圏を中心に主要大学の志願状況や試験結果について振り返ってみたいと思います。

東京大学

16年入試では推薦試験が導入され後期が募集停止となり、志願者は全体で25%減という結果だった。17年度入試はその反動もあって全体では微増（前年比2.8%増）した結果、全科類で第一段階選抜が実施され、合わせて840人が足切りされた。詳細は右下表に示す通りとなっているが、各科類の第一段階選抜の通過率(※)は文一 91.8%/文二 94.1%/文三 90.2%/理一 95.5%/理二 88.5%/理三 73.6%である。(※東大では第一段階合格と表現しているが、ここでは「第一段階通過」と表現を変えた。)

本校からは文科二類に2名合格した。合格最低点は次の通り。

文一 354.5778点/文二 348.5222点/文三 343.6111点

理一 347.5778点/理二 335.3667点/理三 407.7111点

(※550点満点、センター試験110点、個別試験440点)

一橋大学

次年度入試より全学部で推薦入試が導入され、これにより法・社会では後期募集が停止される。したがって今年度入試が上記2学部を後期で受験できる最後の年になった。さらに、法(後期)は前年度の反動もあり、法(後期)、社会(後期)ともに志願者は大幅増となった。

本校からは社会学部に2名合格した。合格最低点は次の通りである。((前期/後期)で表示)

商(554点/一)、経済(533点/671点)、法(578点/728点)、社会(570点/690点)。(※1000点満点 ただし、法・社会の後期試験は900点満点 センターと個別試験の配点比は学部により異なる)

東京工業大学

東工大はセンター試験の得点を基準点(※)として利用しているので、「国語ショック」の影響は少ない。この為、志願者は7%増となった。

東大、一橋はそれぞれ合格者が出たが、残念ながら東工大は合格が出なかった。もっとも受験者も少なかったが、次年度以降は果敢に挑戦していつてもらいたい。

首都圏国公立大

大学・学部	日程	志願者数		指数	志願倍率
		17年	16年		
東京大		9534	9278	103	3.2
文科一類	前	1310	1206	109	3.3
文科二類	前	1125	1050	107	3.2
文科三類	前	1564	1652	95	3.3
理科一類	前	2901	2947	98	2.6
理科二類	前	2107	1877	112	4.0
理科三類	前	527	546	97	5.4
一橋大		4484	4172	107	4.9
商	前	950	800	119	3.7
経済	前	684	674	101	3.3
経済	後	960	1003	96	16.0
法	前	602	507	119	3.9
法	後	342	208	164	34.2
社会	前	671	759	88	3.1
社会	後	275	221	124	27.5
東京工業大		4690	4401	107	5.1
第1類	前	701	680	103	4.0
第2類	前	230	262	88	3.2
第3類	前	398	383	104	4.1
第4類	前	1032	944	109	5.6
第5類	前	1060	918	115	6.0
第6類	前	442	444	100	5.1
第7類	前	304	261	116	3.2
第7類	後	523	509	103	14.9
お茶の水女子大		1766	1605	110	4.6
文教育	前	417	387	108	3.0
文教育	後	346	307	113	17.3
理	前	308	283	109	3.7
理	後	199	204	98	8.7
生活科学	前	363	324	112	3.5
生活科学	後	133	100	133	13.3
電気通信大		4102	3769	109	6.6
情報理工学域	前	1652	1637	101	4.5
情報理工学域	後	2450	2132	115	9.8
東京外国語大		4061	4346	93	5.8
国際文化	前	1402	1373	102	4.1
国際社会	前	701	781	90	2.8
国際社会	後	1958	2192	89	18.0

東京大学 前期課程

第一段階選抜 通過者データ

科類	年度	志願者数	第1段階選抜通過者数	通過者平均点	通過ライン	
					得点	得点率
文一	2017	1,310	1,203	764.18	571	63.4%
	2016	1,206	—	—	—	—
文二	2017	1,125	1,059	777.24	623	69.2%
	2016	1,050	—	—	—	—
文三	2017	1,564	1,410	787.97	732	81.3%
	2016	1,652	1,412	774.26	718	79.8%
理一	2017	2,901	2,770	794.99	660	73.3%
	2016	2,947	2,772	800.40	728	80.9%
理二	2017	2,107	1,864	777.69	701	77.9%
	2016	1,877	—	—	—	—
理三	2017	527	388	796.89	695	77.2%
	2016	546	389	802.86	694	77.1%

※900点満点 文一・二、理二は前年度第一段階選抜を実施せず

※東京工業大学の入試方式

センター試験は大学指定の5教科7科目を受験。950 点満点で 600 点で出願できる。
個別試験は、数学、理科(物理、化学)、英語で行われ、個別試験の得点だけで合否が判定される。試験時間と配点は以下の通り。
数学(180 分/300 点)、理科(各科目 120 分/150 点)、英語(90 分/150 点)
春告草第37号に東工大の「大学説明会レポート」を掲載してある。平成28年度入試のレポートだが、参考にしてもらいたい。第35号にも関連記事あり。

お茶の水女子大

AO入試の募集枠拡大に伴い、前期の募集人員は全体で20名減となった。人気を集めたAO入試の不合格者が再挑戦したとみられ、前期日程では全学部が志願者増となった。後期日程については、文教育が志願者増となったが、後期試験のない埼玉大、千葉大、横浜国大の教育(前期)の併願先として人気を集めた模様である。生活科学の志願者大幅増はセンター試験で国語の配点が低い(50 点/750 点) ことが理由と推定する。

本校からはAO入試(新フンボルト入試)で生活科学部、理学部に1 名ずつ合格した。

東京農工大学

志願者は前期、後期ともに昨年と同等またはそれ以下だった。
本校からは、農学部6 名、工学部4 名の合格が出た農工大であるが、農学部共同獣医学科で合格者が出ている。
また、農学部合格者のうち2 名は、センター試験の得点だけで合否が判定される推薦入試の合格者である。これはセンター試験受験後の出願であるので、センターで高得点が取れたときは出願を検討すると良い。

首都大学東京

次年度学部再編が行われ、都市教養学部が人文社会、法、経済経営、理の各学部に分割され、一部の学科は都市環境、システムデザインの各学部統合される。この影響もあり、都市教養学部は前期、後期とも大幅減となった。都市環境学部は大幅増であるが、背景には土木・建築系の人気に加え、建築都市コースでセンター国語が選択科目、分子応用化学コースでは国語が課されないことに加え、両コースともセンター理科が1 科目で科目負担が少ないことがある。

システムデザイン学部は前年の反動から志願者が大幅増となった。次年度入試より同学部はインダストリアルアート以外の各学科でセンター試験に地歴公民1 科目受験が

必須となり、5 教科型となる。この為、次年度入試では激減が予想される。健康福祉学部は学部再編や入試の変更点はないが、理学療法で定員が40 名から35 名に縮小される。出願にあたっては志望動向に注意したい。

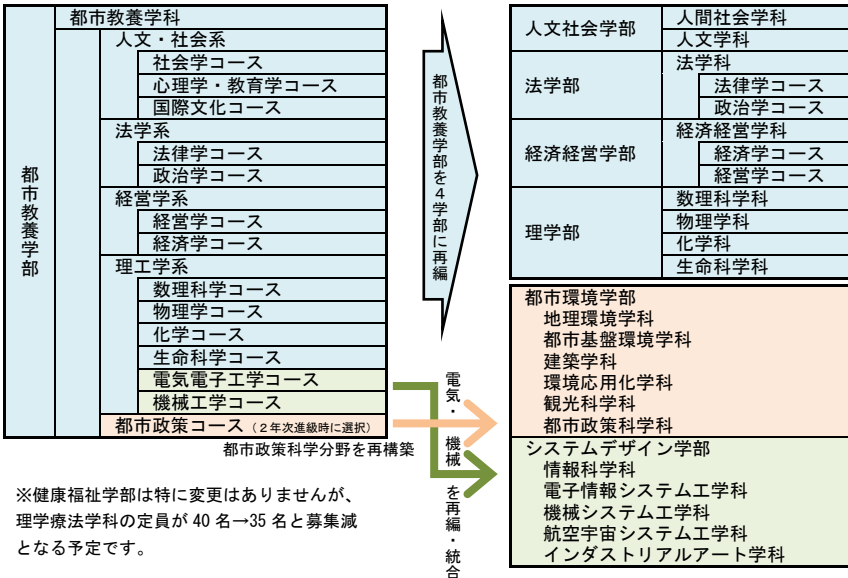
前期の二段階選抜は健康福祉を除く全学部で実施され、第一段階で387 人が足切りされた。

本校からは、都市教養に4 名、健康福祉に1 名合格した。

首都圏国公立大

大学・学部	日程	志願者数		指数	志願倍率
		17年	16年		
東京海洋大		2348	1982	118	6.3
海洋生命科学	前	452	721	改組	4.4
海洋生命科学	後	481	609	改組	10.9
海洋工	前	363	339	107	4.0
海洋工	後	436	313	139	10.1
海洋資源環境	前	345	—	新設	5.2
海洋資源環境	後	271	—	新設	10.0
東京農工大		3223	3342	96	4.3
農	前	717	718	100	3.5
農	後	607	665	91	9.8
工	前	695	770	90	2.1
工	後	1204	1189	101	7.5
東京学芸大		3399	3057	111	3.8
教育	前	1959	1805	109	2.7
教育	後	1440	1252	115	8.8
首都大学東京		8561	8481	101	6.9
都市教養	前	3235	3541	91	5.1
都市教養	後	1246	1607	78	11.8
都市環境	前	866	612	142	7.3
都市環境	後	633	465	136	21.1
システムデザイン	前	1098	892	123	6.5
システムデザイン	後	737	609	121	14.7
健康福祉	前	371	390	95	3.2
健康福祉	後	375	365	103	13.4

首都大学東京の学部増設・改組(予定)



慶應義塾大学

大学全体の志願者は 44,895 人で志願者指数は 100.1 と昨年度とほぼ同じ。学部別にみると増加しているのは文・法・商・総合政策・環境情報と、文系学部もしくは文系科目で受験できる学部である。これらの学部は昨年度も志願者を伸ばしており「文高理低」の近年の受験生の動きが反映されている。一方で、医・薬は志願者を減らしている。薬学部については全国的に志願者減の傾向があるが、医学部は全国的には増加の傾向である。受験生の安全志向から最難関を避けているためと考えられる。

本校からは現役生だけで 8 名（文 3 名、法 3 名、経 1 名、環境 1 名）合格した。

早稲田大学

一般入試の志願者指数は前年度比 106.6 と 2 年連続で志願者を伸ばした。「文高理低」の影響は少なく、理工系 3 学部も志願者を伸ばしている。今年度より始まった英語 4 技能テスト利用入試では、文化構想学部が 7.8 倍、文学部が 7.4 倍と通常の入試より志願倍率は低くなった。

センター利用入試は、導入 2 年目の文化構想、文学部や昨年大幅に志願者を増やした商学部は志願者を減らしたものの、全体としては志願者を増やす学部が多く見られた。

本校からは現役生だけで 33 名が合格した。センター利用入試での合格者も出ているが、得点率は 9 割以上である。合格者の内訳は以下の通り。

政治経済 4 名、法 2 名、文化構想 5 名、文 4 名、教育 4 名、商 5 名、社会科学 5 名、国際教養 4 名。

早慶

大学・学部	日程方式	志願者数		指数	実質倍率
		17 年	16 年		
慶應義塾大					
文	一般方式	5049	4617	109	5.4
法	一般方式	3858	3831	101	5.7
医	一般方式	1578	1689	93	12.5
理工	一般方式	9236	9345	99	4.0
総合政策	一般方式	3937	3765	105	10.3
環境情報	一般方式	3194	3162	101	9.3
看護医療	一般方式	718	775	93	4.6
薬	一般方式	2595	2845	91	5.1
経済	A 方式	4996	5227	96	5.8
商	A 方式	4163	4229	98	4.0
経済	A 方式	2427	2384	102	6.7
商	B 方式	3094	2928	106	12.2
早稲田大					
政治経済	一般入試	6741	6647	101	7.6
法	一般入試	4350	4351	100	4.7
文化構想	一般入試	10748	8939	120	8.8
文	一般入試	8638	8104	107	8.0
教育	一般入試	16439	15316	107	7.2
商	一般入試	14205	13554	105	10.9
基幹理工	一般入試	5056	4847	104	4.8
創造理工	一般入試	4047	4006	101	4.7
先進理工	一般入試	4984	5021	99	4.3
社会科学	一般入試	12284	11366	108	12.2
人間科学	一般入試	6683	5972	112	8.4
スポーツ科学	一般入試	1697	1636	104	8.5
国際教養	一般入試	2293	2325	99	4.4
スポーツ科学	競技歴	407	380	107	3.6
政治経済	セ試	2703	2539	106	4.0
法	セ試	1789	1886	95	3.6
文化構想	セ試	830	873	95	6.7
文	セ試	965	933	103	5.6
商	セ試	2133	2215	96	4.8
社会科学	セ試	1647	1075	153	5.1
人間科学	セ試	975	1104	88	4.0
スポーツ科学	セ試	623	518	120	4.1
国際教養	セ試	1215	1206	101	11.0
文化構想	セ試＋一般	1036	1044	99	3.5
文	セ試＋一般	821	927	89	3.9
スポーツ科学	セ試＋一般	1107	894	124	7.8
人間科学	セ試数学選抜	567	361	157	3.0

※実質倍率は 2017 年度入試のデータ

注目の入試トレンド！

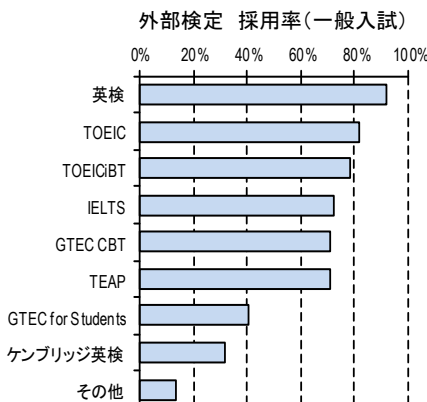
英語の資格が使える入試！

英検 2 級は 90 点扱い、準 1 級だと満点に！

大学入試の英語に代わる試験として注目を集めている「英語外部検定」。推薦・AO入試では以前より利用されることがあったが、平成 27 年度の一般入試で初めて採用された。3 年目となった 29 年度入試では、一般入試での利用は、国公立大 14（昨年度 9）、私立大 96（昨年度 41）、合わせて 110 大学にも達した。ここでは、一般入試での外部検定の利用状況を見ていこう。

利用できる資格

今年度入試で外部検定を採用した 110 大学・各外部での検定の利用率を右図に表した。英検、TOEFLiBT、TOEIC の 3 大検定を利用する大学が多かったが、今年度は TEAP が昨年より 25.5 ポイント伸ばしたのが注目点。海外留学のための英語力を測定する目的の TOEFL などと異なり、大学入試専用試験としての色彩が強い TEAP だが、多くの大学で認知されてきている。27 年度入試の上智大学で始まった TEAP 入試だが、学習用書籍や対策講座も増え、受験生にとっても検定を利用しやすい環境が整ってきている。



利用方法

外部検定の各大学での仕方は、大きく分けて2つ。1つは「出願資格」、もう1つは「得点換算・加点」だ。

1. 出願資格としての利用

東京海洋大学が平成28年度入試より、英検準2級以上、TOEIC400 点以上などの条件を出願要件としている（春告草第29号に掲載記事あり）。今年度入試までは経過措置として、出願要件を満たしていなくてもセンター試験の英語得点 175 点以上（筆記＋リスニング）で出願を認めていたが、来年度入試からはこの経過措置が撤廃される。

また青山学院大学文学部英米文学科C方式（募集枠 10 名）ではTEAPが採用され、総合点 280 点に加え、4 技能それぞれに 65 点以上であることが求められる。この基準を超えて出願した場合は国語と地歴（日本史B or 世界史B）で合否が判定される。早稲田大学でも今年度入試より外部検定利用である「英語4技能テスト利用型」入試がスタートしたが、文化構想学部、文学部では出願資格としての利用だ。

2. 得点換算としての利用

得点換算する大学が国公立大、私立大とも多くなっている。

明治大学でも今年度入試から「英語4技能試験活用方式」を開始した。出願資格としての基準点を設定した上で、さらに高い英語力を持つ受験生に対しては、「国語」と「地歴公民または数学」の得点に、受験生の英語レベルに応じて「加点」していくという内容である

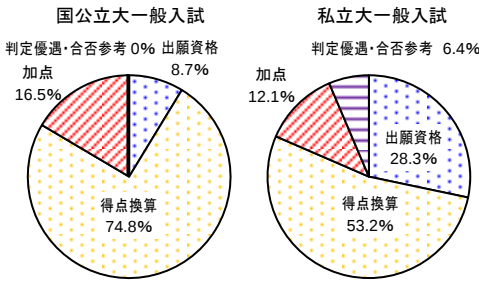
早稲田大学国際教養学部では英語(85 点)、国語(50 点)、地歴 or 数学(50 点)のテストの得点に英語資格に応じて最大 15 点の「加点」を行う方式だ。

求められる英語レベル

上の例でみたように英検準2級レベル以上の英語力が求められている。各大学とも「得点換算」や「加点」で英語力の高い受験生を優遇、選抜したいという意図がみられる。

外国語学、国際関係学系統で高い英語力が求められるのは想像に難くないが、意外なことに「経済・経営・商学」「工学」系統での利用数は、これを上回る。「工学」系統は学科が細分化されていることや「経済・経営・商学」系統は設置している大学が多いことが影響しているが、それを勘案してもこの分野における英語の重要性が感じられる。東工大の説明会で、英語での論文作成に必要な英語力を診断するテストを行っているとの説明を思い出したが、卒業後の実務を行う上で、英語力が重要なスキルと考えられているのだ。

外部検定利用方法



明治大学 経営学部 英語4技能試験活用入試における外部検定の利用

①出願および「外国語」試験の免除に必要なスコア（最低点）

試験の種類	総合スコア	各技能のスコア			
		Reading	Listening	Speaking	Writing
英検	2 級 or 準 1 級 or 1 級の 2200	530	530	530	530
TEAP	230	60	60	45	45
TOEFL iBT	57	13	13	13	13
IELTS	4.5	4.5	4.5	4.0	4.0
TOEIC (L&R+S&W)	980	325	335	140	130
		L&R		S&W	

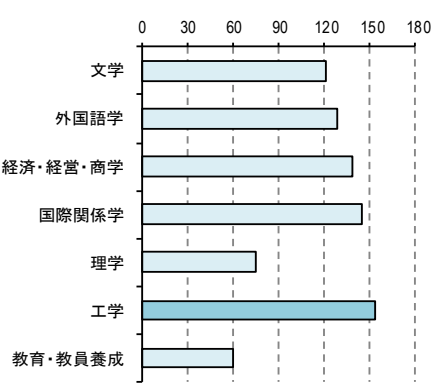
②20 点加算に必要なスコア（最低点）

試験の種類	総合スコア	各技能のスコア			
		Reading	Listening	Speaking	Writing
英検	準 1 級 or 1 級の 2310	540	540	540	540
TEAP	260	65	65	50	50
TOEFL iBT	64	14	14	13	13
IELTS	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5
TOEIC (L&R+S&W)	1090	375	385	150	140
		L&R		S&W	

③30 点加算に必要なスコア（最低点）

試験の種類	総合スコア	各技能のスコア			
		Reading	Listening	Speaking	Writing
英検	準 1 級 or 1 級の 2550	610	610	610	610
TEAP	280	70	70	60	60
TOEFL iBT	71	15	15	14	14
IELTS	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0
TOEIC (L&R+S&W)	1180	405	415	160	150
		L&R		S&W	

学問系統別 外部検定利用学科数



※スペースの関係で一部の学問系統だけを表示した